

姉妹都市締結50周年記念 安東市訪問事業参加報告書

議員 太田 陽子

<p>期 間</p>	<p>令和6年4月23日（火）～ 26日（金）</p>
<p>訪問先</p>	<p>韓国 安東市</p>
<p>感想・所見など</p> <p>大韓民国安東市と1974年にリンゴやさくらんぼの縁で姉妹都市締結を行い、50周年を迎え、安東市において、記念式典開催していただき、参加した。記念レリーフの除幕式や記念写真展、世界遺産の河回村の見学、歓迎式典など、目いっぱい日程だった。安東農協の訪問、李氏の陶山書院の見学、安東焼酎工場見学、産業や文化を感じることができた。</p> <p>1日目と4日目は、移動だけだったので、中二日に式典や見学など安東市を知る機会を設けていただいた。案内をしてくださった安東市の職員の方は、日本語が流ちょうで、質問などに適切な答えて下さり、もっともっと話をお伺いしたかった。</p> <p>安東市には、世界遺産が2カ所あり、両方を見学できた。800年1,000年を大切に、文化や歴史をきちんと継承していることが分った。</p> <p>今回は、公の式典や安東市の方のお世話になり、見学など行ってきたが、もっと、いろいろな人との意見交換など行うことができれば良かったと思った。</p> <p>記念式典後の食事会では、安東市議会議員の方とも話をする機会があったが、通訳を介しての話なので、自分の知識の不足もあり、なかなか伝わらないことがあり、スマホのアプリなど、用意することなどが必要だったと思った。</p> <p>安東市は、盆地で気候や地形が寒河江に似ているようで、塩サバや棒鱈、干し鱈など、伝統的な食文化には欠かせない食材との事で、食文化も似ていると感じてきた。歴史的にも、日本は朝鮮半島からの文化の影響を受けていることを感じた。</p> <p>リンゴの生産は、西村山の十数倍あり、さくらんぼは最低気温の影響もあり、生産は少ないという事だったが、安東市の南部の地域で、生産していると市役所の職員が話されていた。スーパーでリンゴを買って、ホテルで食べてみたが、今どきのリンゴにしては、身も固く、甘みもありおいしいと思った。リンゴの貯蔵などの技術も進んでいるのだと思った。スーパーマーケットでは、一般の人の生活を垣間見ることができた。規模も大きく、また肉などの商品の大きさなどびっくりした。</p> <p>河回村で、新築で伝統的な建築様式で建て替えをしていたので、他の人が移住できるのか聞いたところ、柳氏の末裔のみとの事だった。伝統建築のため、1棟4億円かかるという事だった。中央の国会議員などの名士から川の近くに住む方まで、身分の差が顕著で、日本以上との事だった。また国会議員なども世襲があり、問題だとも話されていた。</p> <p>韓国の教育事情についても、質問してみたところ、統一試験は年一回なので、日本で報道されていることは本当であるとの事だった。しかし、遅れそうで警察に送ってもらいなどあまり考えられないとの事だった。しかし、試験の朝は、勤務時間を10時からとか、ヒアリングの時間は、飛行機を飛ばさないなど、国を挙げて配慮しているとの事だった。韓国の現状を書いた本に、図書館は朝7時半から9時まで、朝から勉強していると書いてあったので、みんな朝から勉強をするのか聞くと、日本の東大に入りたい方は、勉強しているとの答えで、自分はそれほどしなかったという答えだった。</p> <p>このような機会をいただき、感謝しかないという思いだ。反省は、もっと大韓民国などについて、学習や研修をしてから出かければという点である。</p> <p>今後、真の意味での交流ができることを目指し、国際交流など考えていきたい。若い世代の交流など、考えていきたいと切に思った。</p>	